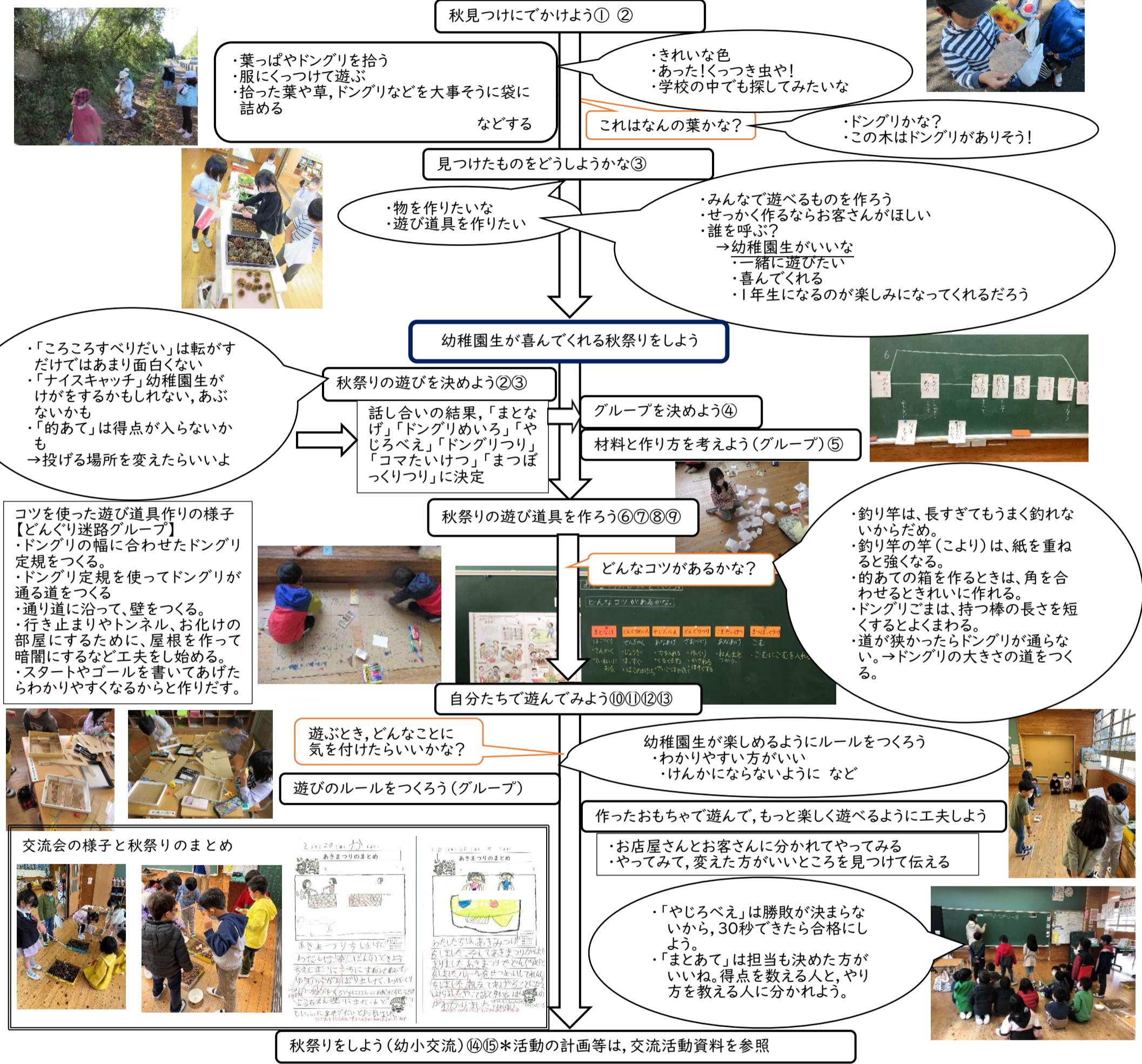


竹田市立南部小学校 1年生 10月~11月 単元名「きせつと なかよし あき」(15時間)

単元目標	秋の自然を諸感覚を使って観察したり,自然物を使って遊んだりする活動を通して,秋の特徴や他の季節との違いを見つけることや,それらを使って遊ぶ方法を考えたり,遊びを楽しく工夫したりすることができ,自然や生活の様子の変化,自然のおもしろさや不思議さ,野原や公園のルールやマナーを守って遊ぶことなどについて気づき,季節を取り入れて遊びや生活を楽しく創り出すことができるようにする。
内容	身近な人々,社会及び自然にかかわる活動に関する内容 (4) 公共物や公共施設の利用 (5) 季節の変化と生活 (6) 自然物を使った遊び 自分自身の生活や成長に関する内容 (8) 生活や出来事の伝え合い
幼児教育からのつながり	<div style="display: flex; justify-content: space-around; text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; background-color: #ffff00;">自然との関わり・生命尊重</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; background-color: #ffff00;">協同性</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; background-color: #ffff00;">社会生活とのかかわり</div> </div>

【学びのプロセス】*○数字は,何時間目かを表す



長い時間をかけての活動だったが,「幼稚園生が喜んでくれる秋祭りをしよう」というめあてのもと,子どもたちは自分たちで話し合い,工夫し,遊びを創り出そうとしていた。単元の振り返りでは,「作るのが楽しかった。」「幼稚園生が楽しかった。』と言ってくれてうれしかった。」「ルールの説明を考えるのが難しかった。」「いろんな秋が見つかった。」といった感想が出された。どの子も,大変なこともあったがお客さんが喜んでくれたことが自信につながっている様子が見られた。

指導上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ◇自然の中で遊んだり,自然のものをたくさん見つけたりできるように,適した場所に,「秋見つけ」に出かける。 ◇自然物を使って遊ぶ活動ができるように,見つけてきたものがよくわかるように展示したり,作るのに十分な時間を保障したりする。 ◇「秋祭り」の遊びを決める際は,思考ツールを用い,話し合いにいかせるようにする。 ◇同じ遊び道具を作るグループで活動できるように配慮する。 ◇道具を使うときは,安全に気を付けるように指導する。 ◇作り方のヒントになるように,参考資料を用意しておく。
---------	--

本単元を通して育つ資質・能力	<p>《知識・技能》 秋の自然の中で遊んだり,自然物を使って遊んだりする活動を通して,自然の様子や季節の変化,季節によって生活の様子が変わること,自然遊びの面白さや自然の不思議さ,野原や公園のルールやマナーを守って遊ぶことに気付いている。</p> <p>《思考力・判断力・表現力》 秋の自然の中で遊んだり,自然物を使って遊んだりする活動を通して,秋の特徴や他の季節との違いを見つけ,遊びや遊びに使うものを工夫してつくっている。</p> <p>《学びに向かう力・人間性等》 秋の自然の中で遊んだり,自然物を使って遊んだりする活動を通して,季節を生活に取り入れ,みんなと遊びを創り出そうとしている。</p>	<p>今後の学習とのつながり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「きせつと なかよし ふゆ」 ○2年生 生活科 「作ってためして」 ○3年生 理科 「しぜんのかんさつ」
----------------	---	--